

役員立候補者等公示

公示番号 ー 13

立候補役職名	全道理事			
(ふりがな)	わたなべ よういちろう	性別	生年月日	年齢
氏名	渡辺 洋一郎	男	1975年8月13日	45 歳
勤務先名	芽室町議会			
会員番号	3 7 7 3 5	市町村	芽室町	十勝地区支部
主な活動歴	2003～2009年 社会福祉法人札幌山の手リハビリセンター (平成17年社会福祉士取得) 2010～2014年 医療法人道北勤労者医療協会 (地域包括支援センター：社会福祉士2年、精神保健福祉士2年) 2015年～ 芽室町議会 (現在2期目) 2018年～ 北海道社会福祉士会十勝地区支部幹事 2018年～ 北海道社会福祉士会理事 (生活困窮者支援委員会担当)			
立候補理由・抱負	私はこれまで福祉現場で働く中で、どうしても現場だけでは解決できない問題に何度か直面してきました。制度や政治そのものを変えていかなければ福祉の現場はよくなるという思いから、2015年に芽室町議会議員選挙に立候補し現在2期目です。 この5年間で、自殺対策やひきこもり、生活困窮に関わる課題など福祉施策を中心に議会でも地域でも取組みをしてきました。 またこの2年間は理事として生活困窮者支援委員会において、人権問題、ハンセン病、自殺対策など、分野横断的な課題について取組んできましたが、このコロナ禍においては人権問題など、今後ますます社会福祉士の役割が大きくなっていくと考えます。 これまでの実践と経験を生かし、これからも北海道社会福祉士会のためにお役に立ちたいと考えております。			
推薦者 1	川向 優子	会員番号	3 3 7 2 4	十勝地区支部
推薦理由	「誰ひとり取り残さない社会」の実現に向けて、日々、町民の皆さんと一緒にまちづくりを考え、最近ではイクメンとしても日々奮闘しているのが、芽室町議会議員である渡辺会員です。 これまでも北海道社会福祉士会の理事として活動してきましたが、特に生活困窮者支援委員会を担当してきた中で「人権問題や自殺問題に向き合った時、2年で辞める訳にはいかない」と考えた渡辺会員の志の高さと責任感の強さは、同じ社会福祉士である私たちに元気と勇気を与えてくれたと感じています。 昨今、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、世界ではさまざまな問題が起きている状況ではありますが、そんな時だからこそ、誠実で前向きな渡辺会員の力は、必ず明るい日本の未来に向けて引き続き貢献していただけるものと確信しています。十勝から応援し、沢山の声をのせて推薦いたします。			
推薦者 2	中山 晶子	会員番号	5 4 0 2 6	十勝地区支部
推薦理由	前回の当選から理事を務め、生活困窮者支援委員会では人権問題や自殺問題に取り組まれています。芽室町議会議員であり、議会でも自殺対策について取り組んでいたりと、コロナ禍における経済格差なども日頃から情報を収集し、町議として、社会福祉士として考えて取り組まれている姿をみています。業務との兼ね合いもあり、続けるか悩んでいる部分もあったようですが、「2年で辞めてしまうのも中途半端なため、今回も続けて行こう」という気持ちに、地方である十勝からも理事をお願いしたく、応援したく、ここに推薦いたします。			
推薦者 3	寺本 圭佑	会員番号	3 2 7 7 5	十勝地区支部
推薦理由	渡辺洋一郎会員を理事に推薦します。渡辺会員は、北海道社会福祉士会の理事に就任し生活困窮者支援委員会の委員長として、複雑化している様々な社会問題に対して社会福祉士の立場から何をすべきか検討し会員と共に活動してきました。また、渡辺会員は町議会議員としての活動の中で高校生にはシールアンケートを実施し、高齢者からは直接声を聴くなど多くの意見を聞きすべての住民が心地よく暮らせる地域づくりを目指しています。 その他にも北海道車いすテニス大会の実行委員長を10年以上務めるなど、障がい者スポーツの発展に尽力して来ました。様々な場面において子どもから高齢者まですべての住民が住みよい地域づくりについて、生活者の視点を大切に活動している渡辺会員の力が北海道社会福祉士会の一層の発展のために必要不可欠だと考え理事に推薦します。			